



令和7年度 学校だより

天王丘



令和7年9月1日(月)

第10号

観音寺市立柞田小学校

発行

長
子
配
付

命を守り、心を育てる学校に

～2学期のはじまりに寄せて～

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿とともに2学期を迎えることができました。保護者の皆様には日々の見守りとご協力に心より感謝申し上げます。

さて、1学期の終業式は大雨警報のため実施できず、式辞についてはリーバーでお伝えしました。その内容を、改めて2学期のはじまりに子どもたちへ伝えました。本日は、その内容を保護者の皆様にも共有させていただきます。



子どもたちへの2つのお願い

① 「自分の命は自分で守ること」

登下校での交通安全、災害への備え、日常での危機意識など、命を守る行動は小さな積み重ねから生まれます。学校では、放送が入ったらその場で静かに耳を傾けること、職員室前を静かに通ること、整理整頓を心がけることも、いざという時に落ち着いて命を守るための準備だと子どもたちに伝えました。

地域の方への挨拶や約束を守る姿勢もまた、自分の命を守る力につながります。

② 「まわりの人のよいところを見つけて伝えること」

1学期の行事「キラキラストーフェスティバル」では、友だちの得意なことを認め合う姿が見られました。2学期はさらに、目立たないけれど努力している人や、自分の仕事ではないのに学校のために動いてくれる人、下級生を支えてくれている人にも目を向けてほしいと願っています。

「努力は音を立てません」しかし、そうした静かな努力に気づき、認めて「ありがとう」と伝えることができれば、自分も相手も幸せになります。

2学期に向けて

私たち柞田小学校がめざすのは、「命を守り、心を育てる学校」です。そのためには、子どもたち一人ひとりが自分の命を大切にし、友だちや周りの人のよさに気づいて伝え合うことが欠かせません。

2学期は行事も学習もたくさんの機会があります。保護者の皆様には、ぜひご家庭や地域でのお子さんの姿を温かく見守り、日常の小さな努力や優しさを一緒に認めていただければ幸いです。

「自分の命を守る力」と「人のよさを見つける力」。この二つの力が合わさったとき、子どもたちは本当の意味で強く、優しくなります。強さとは困難に負けないこと、優しさとは誰かのために行動できること。その両方を身につけた子どもたちが、これからの社会を必ず明るく、温かいものにしていきます。

「ありがとう」が響き合い、笑顔があふれる学校を、2学期も子どもたちと共につくってまいります。どうぞ引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



放送での始業式、素晴らしい態度です。

暑い中でのボランティア活動ありがとう！